

調査協力者各位

「タイム・スペースシェアリング型地域連携による地域創成デザイン研究」

アンケート調査

# 依頼書

札幌市立大学 デザイン学部 教授 蓮見 孝

地域の皆様には、常日頃より札幌市立大学の教育に対するご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。本学研究チームでは、地域創成を支援する未来の担い手教育のあり方を検討しており、その方法論および学問体系の確立を目的に研究教育活動を行っております。この度、札幌市立大学 デザイン学部の「デザイン学」をその原点にした社会作り支援の仮説検証を目的としたアンケート調査を実施する運びとなりました。以下の項目をお読み頂き、研究の趣旨をご理解の上、協力をお願いできれば幸いです。

なお本調査では、無作為抽出による対象者の選定をさせて頂きました。ご了承ください。また、札幌市立大学が回答を強制するものではありません。

## 1. 研究の目的

札幌市立大学では「都市」と「地方」には、異なる特質をもった地域の魅力がある、また、デザインやアートの制作行為を通じた地域の皆様の交流が地域の活性化につながると仮説を立てました。以上の仮説を検証することを研究の目的としています。

## 2. 研究方法・期間

調査期間：2013年12月～2014年1月末

調査対象：北海道在住の20歳以上の男女約2万人（無作為抽出）

回答時間：20分程度

回答方法：添付の回答用紙4枚（8ページ）にご記入の上、同封の返信用封筒にてご返送頂くか、または、パソコンを利用したインターネット経由の回答

回答用ホームページのアドレス → <http://tss.scu.ac.jp/>

## 3. 研究への参加協力の自由意思

この研究への参加・協力は、お断りになることもできます。アンケート調査に協力をしないことで、あなたが不利益を被ることは一切ありません。研究への参加・協力は、自由意思によって行ってください。なお、回答を郵送、または、インターネット上で送信した時点で、研究への協力を同意したものと致します。

#### **4. 個人情報の保護の方法**

個人情報の保護のため、無記名でのアンケートとなります。調査で収集したデータおよび結果は、研究の目的以外に用いることはありません。収集したデータは、研究者の下で厳重に保管します。その他個人が特定されるような情報が公開されることはありません。また、研究結果は統計学的に処理されると共に、論文、報告書および学会発表などで公表する際にも、個人が特定される形で公開されることはありません。

#### **5. 研究に参加することにより起こりうる危険性**

##### **並びに不快な状態とそれが生じた場合の対処方法**

アンケートの回答に要する時間は20分程度であり、回答者に過度な負担を与えることはないと思われませんが、仮に回答中に不快感を感じたり、疲労等により体調に変化が生じた場合は、すぐに回答を中止してください。

#### **6. 研究結果の公表方法**

研究結果は報告書および学会発表などにて、個人が特定されない形で公表させていただきます。研究結果を知りたい場合は、下記の連絡先までご連絡ください。

(2016年6月に、最終の報告書が公開予定ですが、内容によってはそれ以前の成果の公表が難しいことがあります)

#### **7. 研究中・終了後の対応**

この研究の期間中および終了後において、研究に関する質問・意見などがありましたら、下記の連絡先にお問い合わせください。

##### **本研究に関する問い合わせ先**

柿山 浩一郎(准教授) 電話:011-592-5491(直通)	南部 麻子(研究補助員) 電話:011-592-2574(直通)
e-mail:tss@scu.ac.jp	

〒005-0864 札幌市南区芸術の森1丁目

公立大学法人 札幌市立大学 大学院 デザイン研究科 / 電話:011-592-2300(代表)

##### **本研究の倫理に関する問い合わせ先**

札幌市立大学倫理委員会

〒005-0864 札幌市南区芸術の森1丁目

札幌市立大学 事務局 地域連携課気付 / 電話:011-592-2346 fax:011-592-2369